

みりよく

魅力あふれる島原鉄道



ぜひ乗りたい列車 しまてつカフェトレイン

しまてつカフェトレインは、土日祝日に月3〜4回運行されている親しみやすい観光列車だ。ランチコースとスイーツコースの2種類から選ぶことができ、トレインアテンダントの案内も楽しみの一つとなっている。

僕は家族とともにスイーツコースを利用した。車窓より島原半島のどかな風景でいやされ、列車の心地よい揺れを感じながら、地元のグルメやスイーツをいただけるというぜひいたくな時間を過ごすことができた。
スピードチェックアプリの表示では、カフェトレインの速度は45キロ以下で走行しており、通常の走行速度65〜70キロと比較しても、観光列車として楽しめる空間であることが感じられた。
さらに、島原市の観光スポットの入場券や20軒以上の店舗で受けられる特典付きで、島原市の観光が楽しめることも魅力である。

島原鉄道新聞

発行者
島原市立
第二小学校
六年尾崎航太

長崎県の島原市と諫早市を結ぶ「島原鉄道」は、路線距離43.2km、停車駅24駅のローカル路線だ。車両はキハ2500型のディーゼル車である。その歴史は、明治44年に諫早〜愛野間の開通を皮切りに、昭和18年には諫早〜加津佐間の78.5kmと最長路線距離となった。
しかし、雲仙普賢岳噴火災害の影響や沿線の人口減少等により、鉄道事業は赤字経営が続いている。そのため、島原鉄道は試行錯誤を重ね、赤字脱却を目指している。この新聞では、僕が感じる島原鉄道の魅力を伝えたい。



ぜひ訪りたい駅 大三東駅・古部駅・愛野駅

島鉄で一番有名な駅といえば、大三東駅を思い浮かべる人が多いのではないかと。大三東駅は有名なテレビ番組やCMに登場し、観光客が多く訪れる人気スポットとなっている。

島原市の大三東駅は、足元から有明海を望み、ホームとの間にさえるものがないため、日本一海に近い駅の一つと言われている。また、雲仙市の古部駅もホームのすぐそばから諫早湾が広がり、海に近い駅である。どちらもきれいな海を一望できる。干満の差が大きい海であるため、満潮時と干潮時の景色の違いも楽しむことができる。



教会の形をした駅舎が有名な愛野駅。駅名を二つ先の吾妻駅と合わせると「愛しの吾妻」に通じることから、愛の聖地としてカップルや愛妻家に親しまれている。
平成22年に駅舎がメルヘンチックな色合いに塗り替えられ、訪れる人を魅了させている。駅舎の上にある矢が吾妻駅を指しているが、写真に写っていないことが残念である。

また、島鉄の駅名標は水色で統一されているが、愛野駅のみピンク色にクロローパーが描かれた背景となっている。上りと下りのそれぞれ別の駅名標に一つずつ描かれた四つ葉のクローパーを探すこともオススメしたい。



ぜひ使いたいグッズ 赤字ペン・とまれみよ

3本同色の赤字フリクションペンは、一経営努力で消せる赤字は消していく」をキャッチフレーズに発売されている。厳しい経営状況を逆手にとったグッズで、フリクションペンの機能を活かして「赤字」を消すことができるという点が最大の持ちようとなっている。
あるあるトートバッグとあるあるTシャツのデザイン「とまれみよ」。島鉄に多く見られる第4種踏切の警標を7才のみよちゃんを用いて、面白くデザインされている。他にも、日常生活やお土産に役立つグッズが多数あり、オンラインのしまてつショップでも購入できる。

編集後記

島原鉄道新聞を編集することで、僕にとって身近な存在の島原鉄道の魅力に改めて気づきました。島鉄には黄色い車両の他に、一号機関車やキハ20系のラッピング車両もあり、乗車する列車がどの車両なのか、毎回楽しみにしています。
令和4年9月23日には、西九州新幹線「かもめ」が開業します。西九州新幹線から諫早駅で乗り継いで、島鉄の魅力にも触れていただけたらと思います。

